

(別紙3)

沖縄県子宮頸がん検診精密検査協力医療機関の名簿掲載条件等

1 掲載条件

- (1) 日本産科婦人科学会認定の産婦人科専門医が常勤で勤務していること。
- (2) コルポスコープ検査が実施できること。
- (3) 細胞診検査が実施できること(委託可)。
- (4) 組織診検査が実施できること(委託可)。
- (5) 自施設の検査担当医は、子宮がん検診に関連する学会、研修会、講習会等について、過去3年間に2回以上の受講があること。
- (6) 精密検査の結果を一次検診機関に速やかに報告すること。
- (7) 全国がん登録に協力すること。

2 届出書の添付書類

- (1) 新規または更新に係る届出書(共通様式第1号)の添付書類
 - ※ 次に掲げる添付書類のほかに、承諾書(共通様式第4号)を添付すること。
 - ア 検査担当医が日本産科婦人科学会認定の産婦人科専門医であることの証明(認定証の写し)。
 - イ 細胞診検査及び組織診検査が適切に実施できることの証明(別紙3-1)
 - ウ 検査担当医が子宮がん検診に関連する学会、研修会、講習会等に過去3年間で2回以上受講していることの証明(別紙3-2)。
- (2) 変更に係る届出書(共通様式第2号)の添付書類
 - 変更の内容に応じ、(1)に掲げる書類を添付すること。

(別紙 3 - 1)

細胞診検査及び組織診検査の実施

検査種別	実施機関
細胞診検査	1 自施設で実施 2 委託 (委託 (予定) 機関名 :)
組織診検査	1 自施設で実施 2 委託 (委託 (予定) 機関名 :)

上記のとおり相違ないことを証明する。

医療機関名 :

施設長職・氏名 :

(別紙 3 - 2)

県内外で開催される子宮頸がん検診に関連する
学会、研修会、講習会等の受講状況

過去3年間の学会等の受講状況は以下のとおりです。

検査担当医氏名： _____

年 月 日	学術集会等名称

- (注) 1 届出時の前年から過去3年間の受講状況を記入して下さい
2 受講証等があれば、写しを添付して下さい。